

町民説明会

- ・ 新庁舎建設の基本構想
- ・ 現在の進捗状況 など

1. 町長挨拶

2. 説明

①防災拠点型複合庁舎建設基本構想について

②現在の進捗状況について

3. 質疑

防災拠点型複合庁舎の建設を 検討しています。



現在の役場庁舎は、昭和37年の完成から56年が経過し、耐震診断の結果では、震度5強の地震が発生した場合、倒壊または崩壊する危険性があります。

役場庁舎は町民の皆さんが日常的に利用されるほか、災害発生時にも業務を継続し、機能を維持できる安全な施設でなければなりません。また、避難所になっている中央公民館も完成から53年が経過し、老朽化と耐震不足が大きな課題となっています。このため、町は役場庁舎と中央公民館の機能を集約し、にぎわいと町民の憩いの場となるような防災拠点型複合庁舎の建設を検討しています。

町内関係機関の代表者や公募委員で構成する検討委員会による協議はじまりました。今後は、広く町民皆さまの意見をお伺いしながら、今年中に基本計画を策定します。

なぜ、新しい役場庁舎の建設を急がなければならないのか…？

「倒壊または崩壊の恐れがある」危険庁舎と診断されたことが建設を急ぐ理由のひとつですが、もうひとつには、建設費用に対する国の財政支援があります。

国は、昭和56年の新耐震基準前に建設され、耐震化が未実施の庁舎では災害発生時の業務継続に支障が生じる恐れがあることから、未耐震の庁舎の建替事業に対し、平成29年度から地方交付税による緊急的な財政支援を期限を定めて行っています。

国の財政支援を受けるには、令和3年（2021年）3月31日までに実施設計に着手しなければなりません。庁舎建設費用の負担をできるだけ軽減し、将来に重い負担を残さないためにも、国の財政支援を最大限活用した整備を進めることとしていますので、どうぞご理解をお願いします。

これまでの経過

- 平成30年7月 小清水町防災拠点施設建設庁内検討会議設置
- 平成31年1月 小清水町防災拠点型複合庁舎建設基本構想策定
※基本構想は町ホームページで公開中
- 令和元年5月 町議会「役場庁舎等建設検討特別委員会」開催
小清水町防災拠点型複合庁舎建設検討委員会開催

建設までのスケジュール

- 令和元年度 基本計画策定、基本設計・実施設計事業者選考
- 令和2年度 基本設計着手、実施設計着手
- 令和4年度 建設工事

▼事業の進捗によってはスケジュールに変更が生じることも考えられますが、今後進められる検討内容は、随時町民皆さんにお知らせします。

お問い合わせ先

役場総務課総務係

☎ (62) 4470

連載

防災拠点型

Vol.2

複合庁舎建設に向けて



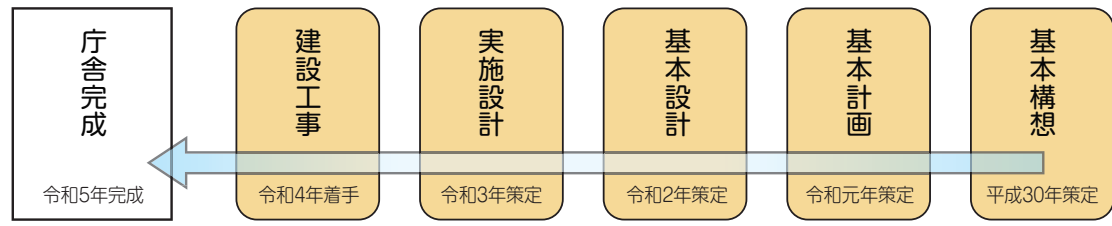
町は、平成30年7月に職員による「防災拠点型複合庁舎建設検討会議」を組織し、新庁舎建設に向けた基本的な考え方を示した「小清水町防災拠点型複合庁舎建設基本構想」を策定しました。

この基本構想は、人口減少社会における課題や国の方針、そして公共施設の在り方を定めた公共施設等総合管理計画の基本的な考え方に基づいて、「このような役場庁舎を建築するのか」その方向性をまとめたものです。

そこには、町の中心施設として次の基本機能を持ち、人が集い、賑わいを生み、町民の皆さんが親しみをもって気軽に訪れることができる空間づくりの検討を進めることとしてまいります。

■防災拠点型複合庁舎の基本機能

- ① 防災拠点の形成
災害対策本部と行政機能の確保、避難所としての空間整備、ライフラインの確保等
- ② コミュニティの再生
中央公民館、保健センター、地域交通対策を含めた賑わいの創出空間の整備等
- ③ 親しみを持って気軽に訪れる空間
ワンストップサービスの提供、利用しやすい窓口と動線、待合スペースの確保等
- ④ 複合型（一体整備）による建設コスト等の削減
面積縮減による建設費の抑制、省エネ設備によるランニングコストの低減等



※ご希望があれば製本した基本構想をお渡しします。お気軽にお問い合わせ下さい。

現在、基本構想の考え方に基づいて機能やおよその面積、概算事業費、建物の構造などをまとめる「防災拠点型複合庁舎建設基本計画」の策定を進めています。

この「基本計画」は、次の委員会を中心に議論を重ね、町民の皆さんのご意見を取り入れながら年内の策定をめざしています。

小清水町防災拠点型複合庁舎建設計画に関する情報は、町のホームページに掲載しています。

内容は基本構想、検討委員会会議録、進捗状況など。

インターネットで「小清水町新庁舎」と検索、またはスマートフォンなどで左のQRコードを読み取ることができます。



QRコード

防災拠点型複合庁舎 建設検討委員会

住民や地域団体、産業界を代表する町民などで構成された、新庁舎の建設整備にあたり必要な調査及び審議を行うための組織です。(敬称略)

構成

委員長 由井 崇
副委員長 長田 正人
高橋 隆文
工藤 孝一
斉藤 修一
鈴木 清一
橘 芳和
不破 泰志
奥村 豊和
井上 美穂
工藤 佐知子
中野 直美
高橋 きよ美
田邊 大地
久光 和行
見崎 征之
常田 直樹

役場庁舎等建設検討 特別委員会

町議会議員による新庁舎建設計画について検討するための組織です。

構成

町議会議員 10名

■防災拠点型複合庁舎建設 検討委員会の開催内容

会議では、議題ごとに委員さんが自由に意見を出し合うワークショップを行っています。

ワークショップで出された意見は、これからさらに議論を深め、基本計画に反映していきます。

【検討委員会の開催日と議題】

- 5月31日開催 第1回会議
議題：現庁舎の問題点について
- 6月27日開催 第2回会議
議題：構造と行政・議会機能について
- 7月29日開催 第3回会議
議題：コミュニティ機能について

現在の庁舎に関する意見

- (1) 庁舎の問題点
 - ・各課のスペースが狭い
 - ・駐車場と役場の間にある道路が危険
 - ・段差が多いなど

新しい庁舎に関する意見

- (1) 建物の構造
 - ・鉄筋コンクリートを基本に木材を内装として使用する
 - ・内装は全体的に白く明るくする
 - ・やわらかみを出すために部材を使用など
- (2) 手続き、申請の窓口
 - ・窓口はパーテーションで区切り、イスを2つ配置
 - ・入り口から全体が見渡せるように
 - ・障害福祉、高齢者福祉は入口の近くなど
- (3) 執務室（職員の事務スペース）
 - ・執務室に壁やパーテーションは不要
 - ・見透しの良い配置が良いなど

(4) 議場

- ・会議室との併用でもよいが、議場としての機能も充実した方がよい
- ・議員席は個別に設置する
- ・議場としての風格があつたほうがよいなど

■町民説明会を開催します

今後は地域の公民館、住民センターで、町民説明会を随時開催します。

第1回目は、8月4週目頃を予定していますので、各自治会の皆様のご参加をお願いします。

また、町民の皆さんからの意見は随時受け付けていますので、ご要望、ご不明な点などは左記までご連絡ください。

お問い合わせ

総務課総務係

☎(62)4470